

大西明さんと中性子星

祖谷元、李東奎、飯田圭

ご遺族の皆様にご挨拶とお悔やみ申し上げます。大西明さんには、大西さんが新学術領域研究「実験と観測で解き明かす中性子星の核物質」（2012-2016年度）において理論班の代表を務められていた折、3名とも大変お世話になりました。飯田は告別式の折、大西さんが中性子星について講演されているビデオを拝見し、必然的に当時のことが思い出され、感慨深さと哀しみが交錯した何とも言えない想いに浸っておりました。実際、新学術領域研究がスタートする直前にとっても重い中性子星が観測され、終了直後には、中性子星同士の合体に起因する重力波が観測されるという極めて時宜を得た状況で理論研究をご一緒できたことは大変幸運なことでした。一方で、それから間もないさあこれからという時期に、研究を継続できない無念さはいかばかりかとお察し申し上げる次第です。

飯田は大西明さんとは比較的年齢も近く、学位を取得する前後あたりから親しくさせていただいておりました。北大時代のお若く大変活発なご様子は、原子核分野で学会発表するようになって間もない孤独な身にとっては、大変刺激的かつ心強いものでした。

祖谷は、新学術領域研究が採択されるまで大西明さんとの接点はなかったかと思います。そんな中、2012年に新学術領域研究が採択されたことを受け、2012年8月1日に研究員の公募に関してメールをいただきました。大西さんからのメールには「祖谷さんは強力な候補とっております」と、ありがたいお言葉が添えられておりました。その後、基礎物理学研究所にて新学術領域研究の研究員として、2012年11月から1年8ヶ月の間お世話になりました。着任当初、宇宙物理が専門であった祖谷は、原子核理論研究がご専門である大西さんと研究の話はなかなかできないかと思ったのですが、どんな些細なことでもきちんと議論してくださり、大変勉強になりました。また、大西さんには、牧野富太郎同様、いつまでも子供のような純粋さがあつたように感じられます。祖谷の異動により所属が基礎物理学研究所から変わったのちも、新学術領域研究の期間は、研究会などでいろいろ議論させていただきましたが、新学術領域研究が終わるとお互いを繋ぐ共通のキーワードである中性子星に特化した研究会も少なくなり、徐々に直接お目にかかる機会も減ってしまったのが残念でなりません。京都に行けば、いつでも大西さんと気軽にお話しできると思っていたのですが、もう大西さんとのあのやりとりがかなわない今となつては、研究員の時はただただ大変貴重な時間を過ごさせていただけたと感ずるばかりです。

李は大西明さんと初めて対面したのは、記憶が定かであれば、2012年京都産業大学で行われた日本物理学会の秋季大会だったと思います。当時の研究内容について、とても示唆的なコメントを頂いたことを今でも覚えております。その後、2014年10月新学術領域研究の科研費研究員として、基礎物理学研究所に半年間在籍させていただきました。その間、大西さんにはいつも明るく気さくに話しかけていただきました。大西さんにとっては些細

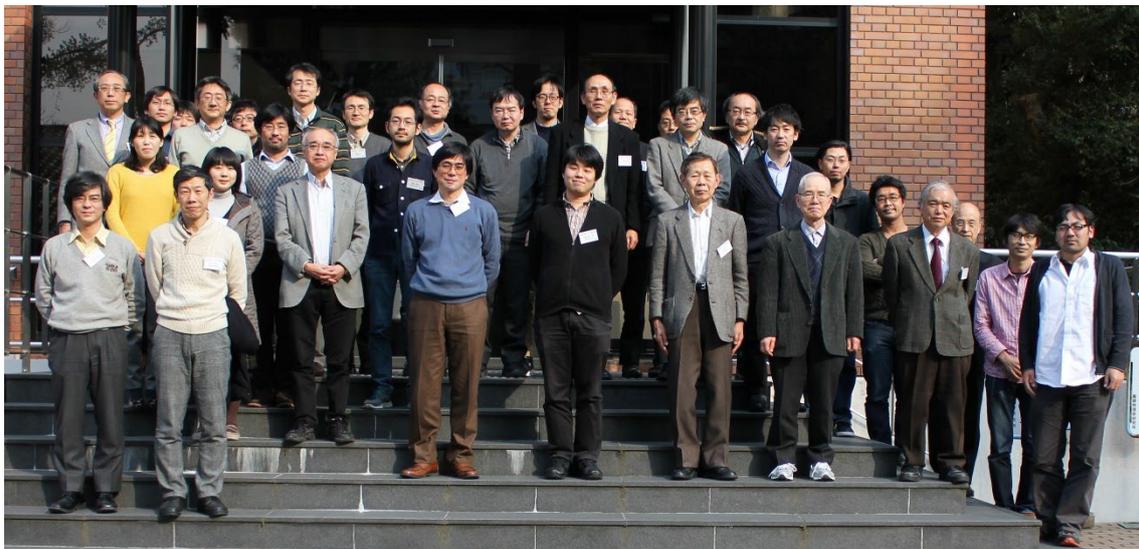
なことだったとは思いますが、私にとっては記憶に残るほど心強く感じられました。また、在籍期間中に新学術領域研究会「中性子星核物質」(理論班・総括班主催)の世話人をご一緒させていただいたことも光栄でした。ほどなくして、京大物二の原子核理論研究室に異動になりましたが、研究室活動において大西さんにお目にかかる機会は絶えなかったと記憶しております。大西さんの魅力は、いい意味で空気を読まずにどンドン人の懐に入ってこられるところかなと思っております。多種多様な意見を下さり、どんな時もフレンドリーに接していただいたので、気が付くと元気をもらっていた自分がいました。この先、あの無垢な質問や問いかけを頂けないのだなと思うと、とても淋しく思います。ですが、これまで頂いた数々のお話しは私の心から消えることはないでしょう。

最後に写真について、一言添えさせていただきます。1枚目は、新学術領域研究がスタートして間もない時分、三河の温泉地で理論班のメンバーが一堂に会した研究会が開催されましたが、まさにその中心におられたのが大西明さんでした。因みに、祖谷は前列左端、飯田は後列左端にあります。閉会后、飯田は大西さんに「楽しかったです」と言えばよいところを、口が滑って「意外と楽しかったです」と言ってしまい、「意外とは？」と突っ込まれたのをよく覚えております。



2枚目は、新学術領域研究会「中性子星核物質」(理論班・総括班主催)でのワークショップフォトです。世話人として大西さん、飯田、李、そして参加者の祖谷含め、4人が写真

左端に写っております。



写真左側を拡大しますと、前方左に大西さん、後方左から李、祖谷、飯田が確認できます。



大西明さん、我々3名は人生の節目で中性子星を通じてあなたにお会いでき、とても幸せでした。